

Yokohama Arts Foundation

令和4年8月18日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
大佛次郎記念館

おさらぎじろう 大佛次郎が父から受け継いだ一枚の油絵 — 明治期横浜の画家・五姓田義松

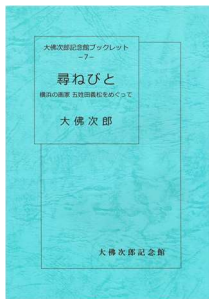
大佛次郎記念館では、2階の愛蔵品コーナーで、『大佛次郎が父から受け継いだ一枚の油絵—明治期横浜の画家・五姓田義松』を開催しています。

大佛次郎（1897～1973）は、少年時代、実家の壁に明治期横浜の洋画家・五姓田義松（1855～1915）の油絵が飾られていたのを日常の風景として覚えていました。

大佛の父で日本郵船に勤めていた野尻政助のじりまさすけが依頼し、義松が描いた《江ノ島》でした。



展示の様子／壁面左側が
五姓田義松《江ノ島》1896年(明治29)
【当館蔵】



『尋ねびと
—横浜の画家
五姓田義松をめぐる—』

収録作品

「尋ねびと」
「残照」
「老女像」
「ヨコハマ画談」
「油絵興行」

価格：500円(税込)

大佛は神奈川新聞で15年間、529回にわたって連載した「ちいさい隅」において、1961年3月から4月にかけて、5篇のエッセイで五姓田義松について探索しています。

展示では、当館が所蔵する油彩画《江ノ島》を中心に据え、義松の父芳柳ほうりゅう、師ワーグマン、やはり画家であった妹の渡辺幽香ゆうこうについても、関連資料や作品パネルを通して紹介します。

あわせて、大佛次郎記念館ブックレット7『尋ねびと—横浜の画家 五姓田義松をめぐる—』を新たに刊行。大佛が画家に寄せた思いを感じられる5篇を収録しました。展示とともに、お楽しみください。



五姓田義松の師ワーグマンが発行した「ジャパン・パンチ」。展示資料は1886年(明治19)のもので、大佛の蔵書印が押されている。【当館蔵】

【主な展示資料】五姓田義松《江ノ島》／「ジャパン・パンチ」／「イラストレイテッド・ロンドン・ニュース」／資料写真パネルほか 約20点

展示会期	2022年11月20日(日)まで	料金	入館料 大人(高校生以上)200円 中学生以下 無料 ※横浜市内在住の65歳以上の方は100円 ※毎月23日「市民の読書の日」と、第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
会場	大佛次郎記念館 2階(閲覧室前)		
開館時間	4月～9月/10:00～17:30(入館は17:00まで) 10月～3月/10:00～17:00(入館は16:30まで)		
休館日	月曜日(祝休日の場合は翌平日)		

情報掲載をよろしくお願ひ申し上げます。記念館取材及び広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】
館長：福富潤子 広報担当：大房奈央子 展示担当：猿渡紀代子、金城瑠以
TEL：045-622-5002 mail：osaragi@yaf.or.jp